

視覚リハ（視覚障害リハビリテーション）とは



私たちは日頃意識する・しないに関わらず、多くの情報を目で見てとらえ、周囲の状況を判断しながら行動し、生活しています。そのため、病気や事故、あるいは加齢によって目が見えにくくなる・見えなくなると、生活上のさまざまな動作を行うことが難しくなってきます。たとえば、文字の読み書き、調理や洗濯などの家事動作、通勤や通学に必要な移動などに支障を生じます。また、精神的なダメージを受ける人もいます。

視覚障害リハビリテーションは、その人がそれまで培ってきた経験や保有視覚、視覚以外の感覚（触覚、聴覚など）、補助具を活用する練習をしたり、福祉サービスを利用する方法を知ったりすることで、見えにくい・見えないために「できなくなったこと」を「できる」ように改善し、再び自立した生活ができるようになることを目指します。歩行訓練、音声パソコン、ロービジョン用具・音声用具の使用等さまざまな内容があります。



【 葦合文化センターへのアクセス 】

阪急「春日野道」駅から 北西 徒歩 約10分

神戸市営地下鉄「新神戸」駅から 南東 徒歩 約10分

JR「三ノ宮」または 阪急「神戸三宮」より

市バス 90・92 系統「雲中小学校前」バス停から 南へ 徒歩 約3分

※葦合文化センターの駐車場は使えませんので公共交通機関をご利用ください

